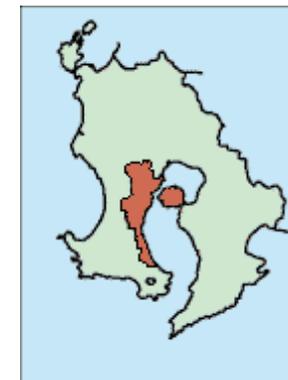


DX活用等による交通弱者の 「食」「医療」「社会活動等」の機会の拡大

鹿児島県鹿児島市 桜島総務市民課



鹿児島県の錦江湾に浮かぶ桜島は、周囲約55 km、面積約77 km²の火山で、地域内のほとんどが溶岩の大地、山林及び原野で住宅地は海岸線に沿って帯状に続いている。世界的な火山大国、日本においても最高峰の活火山が生み出す独自の貴重な自然環境や、都市と火山が共存する世界でもここでしか見れない景観資源を有している。



桜島地域は7,329haの区域が霧島錦江湾国立公園(鹿児島県指定名勝:昭和29年3月15日)

【参考】桜島火山ハザードマップ

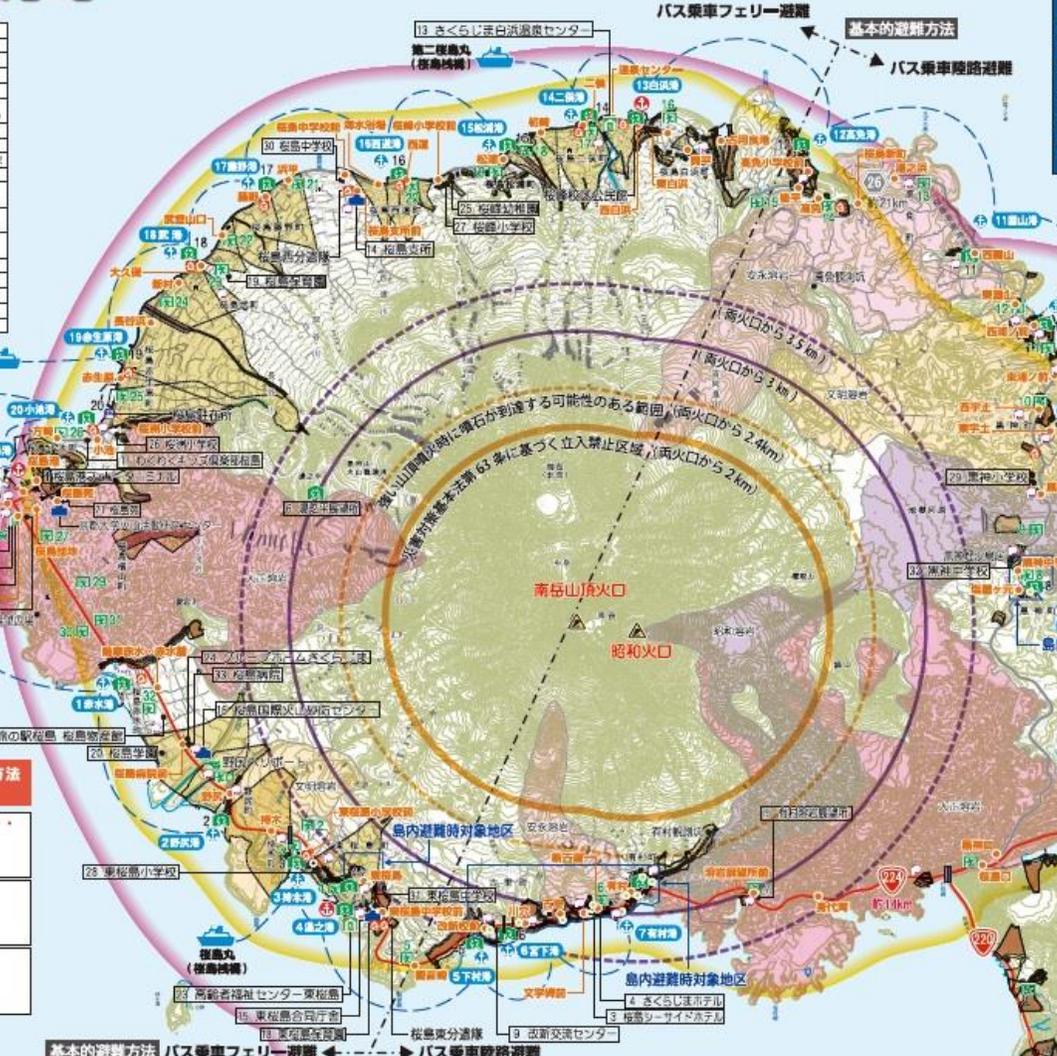
桜島火山ハザードマップ

マップ作成の目的
 この桜島火山ハザードマップは、住民の皆様が桜島の過去の大型噴火の状況や今後の火山災害の危険性を事前に把握し、日頃の備えや緊急時の速やかな避難に役立てていただくために作成したものです。日頃から目に付くところに掲示してください。地域の皆様で緊急時の行動を話し合い、前兆現象や噴火状況に注意しましょう。

マップ外国語版 (英語・韓国語・中国語・朝鮮語)
 Sakurajima Volcano Hazard Map
 사쿠라지마 화산 해자드맵
 櫻島火山防災地圖
 櫻島火山防災地圖

避難促進施設一覧

No.	施設名	No.	施設名
1	桜島遊覧フェリーターミナル	17	わかむくキッズ遊樂場
2	桜島遊覧レインボー桟橋	18	櫻島消防署
3	桜島シーサイドホテル	19	櫻島保育園
4	さくら島ホテル	20	桜島小学校
5	青村洋行観光所	21	(併設) 知港入居 遊園舎
6	(併設) レストハウス	22	高齢者福祉センター-桜島
7	桜島福祉センター	23	高齢者福祉センター-東桜島
8	桜島ビジターセンター	24	グループホームわかむく1号棟
9	改新交流センター	25	桜島幼稚園
10	南栗リース桜島アトリオ (桜島観光会館)	26	桜島児童クラブ
11	道の駅「桜島 火の島のめぐみ館	27	桜島小学校
12	道の駅「桜島 桜島産産	28	東桜島小学校
13	さくら島	29	東桜島児童クラブ
14	さくら島センター	30	桜島中学校
15	南栗リース桜島 桜島支店	31	東桜島中学校
16	桜島遊覧フェリー観光センター	32	高千穂小学校
		33	桜島病院



影響範囲 いつ・どうなる

	大規模噴火とほぼ同時に 噴石 が到達する可能性のある範囲
	大規模噴火後まもなく 火砕流 と 噴霧 が到達する可能性のある範囲
	強い山頂噴火時に 噴石 が到達する可能性のある範囲

わが家の避難先や緊急時の連絡先
 などを書き込みましょう。

わが家の最寄りのバス停・避難港は・・・
 (記入欄)

わが家の避難先は・・・
 (記入欄)

緊急時の連絡先は・・・
 (記入欄)

凡例

	火口
	避難場
	避難所
	避難所(島内避難)
	バス停(島外避難)
	バス集合場所(島内避難)
	避難港(乗船待機場所)
	避難港(乗船待機場所) 預り者避難場・点避難港
	ヘリポート
	避難所
	防災関連施設
	消防施設
	警察施設
	避難促進施設
	防災行政無線
	国道
	普通道 3km の避難待機所
	普通道 3.0km の避難待機所
	県道
	土石災害警戒区域
	土石災害特別警戒区域



〔製図法に基づく国土地理院長承認 (使用) R.3.06.744〕

人口等の推移

地域内の人口は、合併時比較するとほぼ半減し、人口減少が急速に進んでいる。
 特に人口に占める65歳以上の割合は50%を超えており、全市で最も高齢化が進んでいる地域である。(平成16年11月1日合併)

【桜島地域】

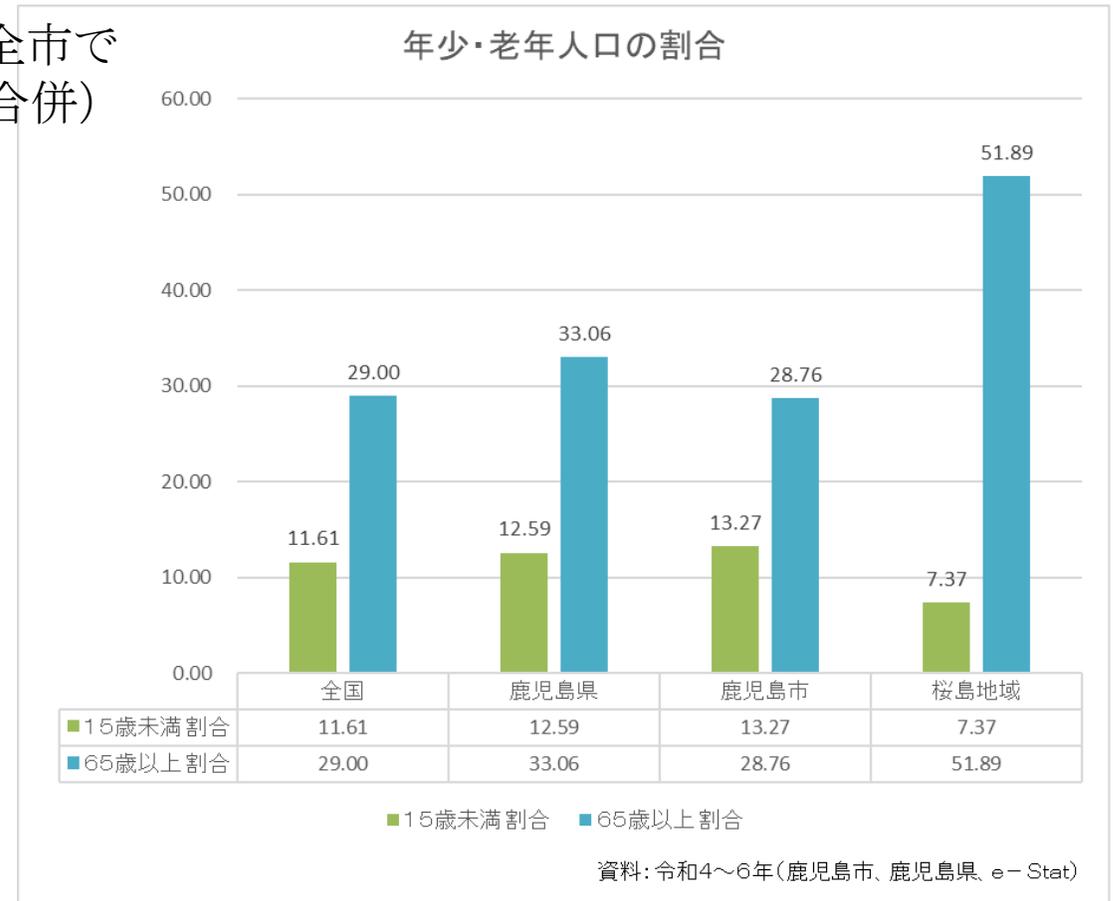
人口 3,554人(4,196世帯)
 高齢化率 51.89%
 15歳未満の割合 7.37%

学校と生徒数 令和5年4月

小学校(4校) 128人

中学校(3校) 59人 計 187人

※令和8年に全学校統合して1校に



桜島地域の課題

地域内の人口減少に伴い、島内の経済活動の衰退、飲食店や観光などの事業者の減少が目立つ。また、地域の血流を促す交通インフラ(路線バスや鹿児島市街地と繋ぐフェリー)の減便と運賃上昇により島の暮らしはさらに厳しさを増してきている。

1. 交通・買い物弱者

2. 医療機関

3. 高齢者の生活スタイル

4. 通信弱者

地方では、「コミュニティバス」や「オンデマンドタクシー」に期待したが、ドアtoドアが必須の高齢者やお店までが遠距離の田舎では高価……の課題で使いづらい

これから実証実験

地方では当たり前前の互助運送を桜島全体で取り組む動きが始まる
ボランティア運送「桜島版notteco(のってこ)」

地方の交通インフラ/サービスを桜島から考える

「桜島」という社会の縮図とも言えるテストフィールドを舞台に、
全国地方に通じるアイデアを一緒に考えましょう。

桜島のテストフィールドとしての特性

島という生活圏の明確さ

島民の生活圏は島という大地のくくりがあるため、交通用途が理解しやすい

一周36kmというコンパクトアイランド

車で1時間ほどで一周できる距離であり、土地勘がなくても島全体の把握がしやすい

分かりやすい交通路線(外周道路+航路)

島の人が利用する公共交通はバス・タクシー・フェリーの3択で利用手順もシンプル

※フィールドの複雑な事情把握に割く時間以上に、地域で活用できる「アイデア」を考える時間が多いプロジェクトです